

マーケティングプランナーのためのエモーショナルトレンド分析レポート

月刊 女性潮流研究所

VOL.203

2022/010 / 25発行



女性潮流研究所 今回のキーワードまとめ

キーワード①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？

キーワード②アフターコロナ

そろそろ本気で、いよいよ本気で

キーワード③韓国トレンドからの影響

日本→韓国→日本の価値創造

キーワード④フェミニズムアイコン

思想を含めてファッション

キーワード⑤昭和っぽい

Y2K、平成レトロ流行りに昭和も追加

キーワード⑥サ活と雪

美容や健康の切り口も多いが、女子会やナイトプールに通じる感覚もある

キーワード⑦秋服トレンド

ダウン、メンズっぽい、ベーシック

キーワード⑧新しいベーシック像

新しいトラッド、いいベーシック、理想のベーシック、フレンチベーシック

キーワード⑨シーン別服

コロナから脱して人やシーンを意識

キーワード⑩「映える」の使い方

「似合う」+「盛れる」を合わせて自分がいい感じに「映える」

キーワード⑪人に会わない間にご自愛・快感・幸せ

ちょっと疲れたり弱かったりな自分を労り愛してあげたい気分

キーワード⑫イケメンと美人 顔面至上主義

美人はもう完全に「なれる」「寄せられる」ものに

<業界別おすすめ記事はこちら>

- 化粧品業界の方は、キーワード①②③④⑤⑥⑩⑪⑫
- ファッション業界の方は、キーワード①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑫
- 食業界の方は、キーワード①③⑤⑥⑪
- ライフスタイル業界の方は、キーワード①③④⑤⑥⑪
- すべての業界の方が要チェック キーワード①③⑤⑪

今月のPick Up Magazine ～雑誌数66誌+ネットメディア2件/見出し数1,257本+63本

【雑誌】 ar/anan/&Premium/InRed/25ans/ViVi/VERY/VOGUE JAPAN/VoCE/eclat/ESSE/ELLE japon/oz magazine/Oggi/大人のおしゃれ手帖/オトナMUSE/家庭画報/CanCam/GINZA/ku:nel/CLASSY./GLITTER/CLUEL/GLOW/クロワッサン/サンキュ!/GISELe/SPUR/GINGER/Sweet/素敵なあの人/steady./STORY/SPRING/天然生活/NYLON JAPAN/日経WOMAN/日経Health/Numero TOKYO/non-no/HERS/Harper's BAZAAR/BAILA/Hanako/ハルメク/美人百花/美ST/美的/FUDGE/FIGARO japon/婦人画報/婦人公論/PRESIDENT WOMAN/Precious/MAQUIA/Marisol/mina/mini/MORE/LARME/LaLaBegin/LEE/Richesse/リンネル/Ray
【ネットメディア】 BuzzFeed Kawaii/steal me!

女性潮流研究所メンバー



H瀬●女性潮流研究所 所長
総合分析を担当



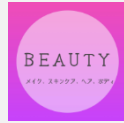
N松●女性潮流研究所 副所長
メジャーからマイナー界まで幅広くウォッチ。



P田●女性潮流研究所 客員研究員
ハイブランドからリアルトレンドまで網羅。女性誌エディター

2022年10月

キーワード①今旬キーワード



トレンドキーワード

- ◆〈だからワタシは愛されちゃう〉ベビベビベビー！ × 森絵梨佳(ar10月号)
- ◆新木優子 × 最きゅんわんぴーす(ar10月号)
- ◆ヴィーナスちゃんがゆく！(GLOW11月号)
- ◆こなれカジュアル真由 優しげフェミニンゆうか 今っぽスウィート真悠 なりたい系統で選ぶ秋イチ服(non-no11月号)
- ◆「関西オレンジ」「名古屋パープル」でリスタート！の秋(STORY11月号)
- ◆自己満上等？今の気分はネオガリー(ViVi11月号)
- ◆アートな毎日 アートな服で(25ans11月号)
- ◆SNSカルチャーの変遷と新潮流(VOGUE JAPAN11月号)
- ◆Girly Hotel Trip ホカンスをガリーに楽しむ方法(LARME秋号)
- ◆HOLO meets S Cawaii! ホロライブ 夜空メル 癒月ちょこ 桃鈴ねね 鷹嶺レイ(Scawaii! 11月号)
- ◆もう、ポーズに困らない……！みんなの集合写真みせて!(mini11月号)

美容系

- ◆トレンドに敏感な世代だから“バズりもの”も賢く取り入れます「楽しい！」目線でセレクト♪ 使えるプチプラコスメは30代に聞けばいい！(美ST11月号)
- ◆【とじこみBOOK】お手本は鈴木愛理 全世代に告ぐ!!! ストリートこそ引き算メイク(mini11月号)
- ◆秋のトレンド顔は“下まぶた盛り”(CanCam11月号)

ファンデ

- ◆のばしてからわかる大人ならではの肌不調 秋の「ファンデがのらない」問題を解決する！(美ST11月号)
- ◆「なりたい印象別」秋の肌 発光ツヤ肌と擬似素肌、どっちでいく？(CanCam11月号)

成分

- ◆20歳のための「成分スキンケア」学、開講！(non-no11月号)
- ◆キャラで知る！「保湿成分」深掘りBOOK(美的11月号)

組み合わせ

- ◆本とシートマスク、美を育む秋の日。(美的11月号)
- ◆誰のためじゃなくて、自分を鼓舞して今日も行く……！自信をまとえる服と、香りと。(SPRING11月号)

2022年10月

キーワード①今旬キーワード



アフターコロナ

- ◆失われた「あご」を求めて(eclat11月号)
- ◆マスクの下でゆるみまくった頬。いざマスクを外すとなると躊躇してしまいませんか？ 今こそ、頬に自信を取り戻す！ヘア&メイクアップアーティスト 黒田啓蔵さんの即効“上げ”美容術、公開！(Precious11月号)
- ◆マスクを外す前に自信の持てる歯になる！！(LEE11月号)

ちょっとアゲ気分

- ◆靴もバッグもヘッドアクセも！憧れブランドの自分アゲ小物(Sweet10月号)
- ◆10万円台で買えるブランドリスト(ViVi11月号)
- ◆私たち“エレガントでかっこいい”を求めている！(eclat11月号)
- ◆広末涼子さん「ムリせず華麗！」な1weekコーデ(STORY11月号)
- ◆お助け「格上げアイテム」を味方に(GLOW11月号)

2022年10月①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？

トレンドキーワード

◆もう、ポーズに困らない……！みんなの集合写真みせて！（mini11月号）



N松●「もう、ポーズに困らない」というminiの見出しが印象的。しゅっちゅう写真を撮る世代では、ポーズの流行り廃りが早くて、発信者としての自分のイメージに関わる一大事なんだろうね。トレンドの可愛い服を着ていてもポーズがちょっと古いのだったりすると、「せっかくのトレンドファッションが…」と余計に残念になったり。ポーズって髪型ぐらい大事かも知れません。

美容系

◆トレンドに敏感な世代だから“バズりもの”も賢く取り入れます「楽しい！」目線でセレクト♪ 使えるプチプラコスメは30代に聞けばいい！（美ST11月号）

◆秋のトレンド顔は“下まぶた盛り”（CanCam11月号）



N松●CanCamが提案していますが、「下まぶた盛り」は確かにアリ！先月の「イマドキ女性図鑑」で取り上げた「純欲メイク」でも、ぶっくりキラキラした下まぶたは重要なポイントになっています。



P田●楽しい目線のセレクト、美STが提案しているのは美容のエンタメ化、特に若い世代のプチプラアイテムを選ぶのはお財布的にも優しいし、エンタメ感覚で参加できる、というムードなのかと。年齢が上がると、自分の悩みをどう解決してくれるのか…と、ともすると「眉間にしわを寄せながら化粧品選びしたり美容したり」という現象が発生。それより、ゆるく、楽しく、「バズりものに参加しましょう♪」という背中を押すのがうまいなと思いました。

成分

◆20歳のための「成分スキンケア」学、開講！（non-no11月号）

◆キャラで知る！「保湿成分」深掘りBOOK（美的11月号）



P田●non-noを読む若者に「成分」の話が響くんのね、と認識。成分ブームは美容の流れの中でちょこちょこ浮上するものですが、1つの成分ではなく、また何か目的があつての成分でもなく、20歳だし、「成分」にこだわっていこう！という提案なんだと。また、YouTubeなどの動画で、ドクター（や美容家）が成分について語ります！といったものをアップしていたりして、何となくまとめてみておきたいかも…という気分させられる気がしました。



N松●7月号で「ファッションと香りの教養」をキーワードとして取り上げましたが、「お勉強好き」な傾向が継続しています。今は情報が多すぎて、逆に自分で根拠やエビデンスを確かめないと納得できないというのもありそう。そして、「〇〇だから効く」という裏付けがあるものに最短距離でリーチしようとするところ、むしろコスパ・タムパ重視だと思います。

2022年10月①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？

組み合わせ

- ◆本とシートマスク、美を育む秋の日。(美的11月号)
- ◆誰のためじゃなくて、自分を鼓舞して今日も行く……！自信をまとえる服と、香りと。(SPRING11月号)



P田●本とシートマスク、香りと服、美容とそれ以外の連携ってとても興味があります。一見関係ないようでいて、**時間の使い方や、表現したいもの、という意味では共通するもの。ジャンル軸じゃなくて、目的軸とか時間の使い方軸、後は価値観軸で考えるの楽しいです。**書店で食品を買うような、そういう楽しさ。

ファッショントレンドと自己満足

- ◆サステイナブルという言葉を使いたくない人たちのサステイナブルの現在地 熊切秀典 / アニエスベー / 藤澤ゆき / 小林裕翔(装苑11月号)
- ◆ライブでも日常でも。大人のための“推し色”コーデ(MORE11月号)
- ◆自己満上等？今の気分はネオガーマーリー(ViVi11月号)
- ◆アートな毎日 アートな服で(25ans11月号)



P田●社会に向けた思想とリンクしてファッションをとらえるのとまったく違うベクトルがこちら。「自己満上等？今の気分はネオガーマーリー」(ViVi)とか、推し色コーデ(MORE)とか、もっと**シンプルに自分を楽しませるという動きにやっぱり共感するところ**があるかなと。ちょっと個人的なムードとして「**社会的にイイコト疲れ**」が来ているかもしれません。Z世代は、そのあたりは内蔵された感覚なのではないでしょうか？



N松●世の中のトレンドよりも自分の中のトレンド、マイブーム…まさに「自己満上等」でいいですね～。
「推し色コーデ」なんて、ほぼ100%推し本人の目には入らないし、現場(イベントやコンサート会場)以外の日常で着てても多分なんとも思われない、**でも自分は幸せになれる究極に自己満ファッション**ですね。推し活のいいところの一つがこれだと私は思います。誰にも迷惑をかけない、お金もかからずリスクもない、どうせ何か服は着るのだからそれなら推し色を。まあそれ以前に、カラーバス効果で推し色は目に入って来ちゃうんですが。その色を身に着けるだけで気分が良くなるなんて、オタクっぽく言うと大優勝ですね。
トレンドを追わないとなると、手持ちの着古した服とかになっちゃいがちですが、**自己満足する服というのも一つの大きな「ファッション」**ではないでしょうか。

2022年10月①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？

なんでも投資感覚

- ◆20歳からの「自己投資」美容(non-no11月号)
- ◆20歳の自己投資美容はじまる！(non-no11月号)
- ◆投資スキンケア 本気のお試し30DAYS(MAQUIA11月号)
- ◆エレ派はみんな「美容貯金」(25ans11月号)
- ◆大学生100人が選んだ！自己投資BEAUTY AWARD(non-no11月号)
- ◆CanCam×美的 BEAUTY BOOK 「実は始めどき」20代も、「本気勝負」30代も、知れば差が付く！基礎の基礎から「アンチエイジング」(美的11月号)
- ◆時計、貴金属、バッグ……家に眠る「お宝」の時価総額戦争は経済が起こす！「マネーの世界史」5分間講義イギリスから米国、そして中国……マネー地図で覇権が見える(PRESIDENT WOMAN秋号)
- ◆「ふるさと納税&メルカリ最強マニュアル」(ESSE11月号)
- ◆——デート・同棲・結婚——お金でモメないカップルに、どうしたらなれますか？(MORE11月号)



N松●「投資」と言うと、「お金を使う・払う」という感覚が薄れます。むしろその金額以上のリターンを得られる期待感もあり、手元のお金は減っているのに見えないお金が増えている感覚（だいたいの場合、勘違いまたは希望的観測ですが）。なので、「投資」であれば自分に消費を許すことができる。なんだかすごくいいことをしている気分ですらなったり。

売る側にとっては、買わせるための殺し文句にもなりますね。生活不安が高まっている今、お財布を開かせるための分かりやすい一つのやり方だと思います。



P田●貯金じゃなくて、投資なんだなあ。かつてはもっと、貯金が美徳みたいなイメージだったと思うのですが、今や絶対に、こういうところに出てくる言葉も「投資」をチョイスするのが正しいなど。

2022年10月①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？

年齢系

- ◆2022年ミスコンファイナリストが登場♥バズる！！ミスコン美女ずかん(Ray11月号)
 - ◆今、この世界に挑むZ世代をPick-up(GLITTER vol.5)
 - ◆Z世代の代弁者 Novel Core(GLITTER vol.5)
 - ◆GenZ な NEXT STARS! 20歳のめるるが、今考えているコト(GLITTER vol.5)
 - ◆Generation Z：わたしたちのA-Z(GLITTER vol.5)
 - ◆後期の大学生ワードローブ相談室(non-no11月号)
 - ◆大学生のための細かすぎるSTYLE SAMPLE(non-no11月号)
-
- ◆お見合い、アプリ、デート…モテ服も変わってくるお年頃OVER30大人の婚活服で10月の着回しDiary(CLASSY.11月号)
 - ◆around30に必要なのは自分を“鼓舞する”もの with 堀田 茜 自信をくれる秋の服 (SPRING11月号)
 - ◆出会いが激減、アプリでも苦戦…withコロナ3年目で「30代の恋愛」が難しい！ (CLASSY.11月号)
 - ◆申 真衣ちゃんの規則正しい生活(VERY11月号)
 - ◆「わかる！」の飾らない日常に親近感 加藤ローサさんの「リアルママライフ」 (Mart 秋号)
-
- ◆高尾美穂さんに聞いた、更年期を「幸せの入り口」にする方法(STORY11月号)
 - ◆Happy!なあのは「ホル活」、始めてます(STORY11月号)
 - ◆お見事！畑野ひろ子さん「アネフォー映え！」の紺と黒(STORY11月号)
 - ◆45歳過ぎたらこれからの人生、上昇カーブでしかない！ (STORY11月号)
 - ◆もっと話そう、Hello Femtech! 45才からの生理「マネジメント」で更年期をハッピーに！ (GLOW11月号)
 - ◆45歳。私が選ぶ道 伊東美咲(MORE11月号)
-
- ◆雨宮塔子 “雰囲気がある人” のおしゃれの仕上げ方(eclat11月号)
 - ◆50代からのポジティブ・エイジング 更年期ビフォー・アフターを考える(大人のおしゃれ手帖11月号)
 - ◆中園ミホさん 60歳からの運気をアップする幸せのルーティーン(ku:nel11月号)
 - ◆〈ユーチューブで人気！〉団地暮らしの87歳。今がいちばん楽しい 多良美智子(婦人公論10月号)



N松●Z世代は、かつてのバブル世代とかコギャル世代みたいに、**世代のカタマリとしての強さという存在感がある**なあと思います。しかも、Z世代以外の世代がそう見えていて、当事者たちがよりその意識を強くしているイメージ。〇〇系と小分けにされず、Z世代としてひとくくりな感じがあって、バラけないからより強く見える。色々なところで「Z世代のなんとか」というタイトル、表記を見ますが、「Z世代の〇〇系」とは言わない。悪い言い方だと十把一絡げなんですけど、それに対して反対意見もないという。消費に意欲的な世代ということもあって、世の中に注目されたりチャヤホヤされていますが、**好きなことにはお金を糸目につけないという面がある一方で、自分の関心の対象外には塩対応なイメージ**です。

2022年10月①今旬キーワード

キャッチコピーに取り入れたいフレーズを発見したい！
どれが気になる？どんな風に気になる？



N松●他の世代の見出しを見て感じたのは、**30代の切迫感、40代の不安と空元気、60代以上の元気さ**、ですかね。

まずアラサー～30代。婚活に忙しいか、仕事に忙しいか、子育てに忙しいか、誰もが何かに忙殺されている。そして40代は、30代からの延長気分であったのが、更年期が見えてきて明らかに30代とは違う我が身に改めて気づく。この両者、**30、40代女性は、自分自身の今を生きていない**ような気がします。自分自身の今を生きられるようになるのは、60を過ぎてからなのかも知れません。

ハイトーンで傷む若者・白髪薄毛に悩む40代

- ◆豊かで美しい髪といえば、女優・篠原涼子さん「どんな表情も、綺麗な髪が演出のひとつです」(美ST11月号)
- ◆2022年最新版！進化したカラーシャンプーから巻き髪、頭浸浴まで 薄毛と白髪に効くと噂の「パワー髪トレンド」14(美ST11月号)
- ◆最新的美髪治療で、髪に若々しい輝きを(家庭画報11月号)
- ◆激変！ピフォーアフター 山口直美さんのヘアスタイリング剤の「正解」(日経Health秋号)
- ◆“白髪ストレスゼロ”を目指してできること全部(美ST11月号)
- ◆実例・白髪&薄毛“全カケア”の舞台裏を見た！(美ST11月号)
- ◆薄毛・白髪に悩む読者が“3カ月本気で頭皮美容液”チャレンジ！(美ST11月号)
- ◆美髪の50、60、70代を目指してー私の髪、「これからどうする？どうなる？」ロードマップ(美ST11月号)
- ◆カラーで、カットで、前髪で…1ポイント変えるだけで、グンと秋めいて今っぽく！洒落見えを叶える、秋ヘアトレンド [#〇〇〇] (CanCam11月号)
- ◆CHANGE！似合う髪型、見つけます！(サンキュ！11月号)
- ◆朝がときめく！大人の「結べるミディアム」(STORY11月号)
- ◆ハイトーン流行りで髪の調子がイマイチ…… ホームケアで美髪を手に入れる15の方法 (SPRING11月号)
- ◆カットせずともイメチェンできる オーラはヘアで作るもの！(Ray11月号)



N松●**40代以上になると髪型は二の次**ですね…白髪に薄毛にツヤのなさをどうにかすることに終始し、髪型はトレンドを体現するものではなく悩みをケアする手段として、「ふわっとさせる」のがまず第一に来る。

確かに悩みは切実なんだけど、**もう少し楽しくなるような持って行き方はないものか…**と思うんですよ…。「美髪治療」なんていう言葉が出てくるぐらいなので、簡単なことではないですが、でも逆に、**白髪も薄毛も実際には避けられない現象なのは分かっています**であきらめていたりすることなので、それならせめて**気持ち明るくなるようなモノコト**を提案できたらなあと思ったりします。

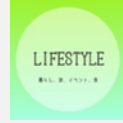
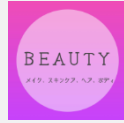


P田●髪って、若いころ悩んでた人の方が40代になってイイ感じの髪をキープできてるなあと思います。すごく個人的な話。私は髪にあんまり悩みがなくてすごく適当なお手入れ(つていうかもうただ洗ってただけ)にしていたら、うーん、ちょっとまずいかなあという感じにきています。で、もうお手入れ大切なわけですが、すごく煮詰まったらガラッと髪型を変えるのかなと思っていたりもして。

SNSでおばさん～おばあさんのカットでのピフォーアフターを見せるのとかつい見ちゃうのですが、ひとまず**いい美容師と出会うことは若者以上に大切**ではないか！と。自分に言い聞かせるのも含めて声を大にして言いたいです。

2022年10月

キーワード②アフターコロナ



- ◆失われた「あご」を求めて(eclat11月号)
- ◆マスクの下でゆるみまくった頬。いざマスクを外すとなると躊躇してしまいませんか？ 今こそ、頬に自信を取り戻す！ ヘア&メイクアップアーティスト 黒田啓蔵さんの即効“上げ”美容術、公開！(Precious11月号)
- ◆マスクを外す前に自信の持てる歯になる！！(LEE11月号)
- ◆予定がある日のオフィスメイク味変プラン(CLASSY.11月号)

2022年10月②アフターコロナ

そろそろ本気で、いよいよ本気で



P田●

◆予定がある日のオフィスメイク味変プラン(CLASSY.11月号)

って、何となくリモートじゃなくて出社前提っぽい話題が出てきているなど。これはそろそろ本気で、いよいよ本気で、が来ているなと思います。個人的にも深刻…。tiktokで、フェイスラインケアの舌体操とか出てくるとついやってしまいます。Preciousは、ヘアメイク黒田さんの提案なのですが、数々の女優を「現場で」すっきりした顔に整えてきた黒田さんならではの速攻技が期待できそう。



N松●いやー、最近のPreciousやeclatといった大人雑誌の見出し、出色なのがありますね。失われた「あご」を求めて(eclat) …短いに分かる！刺さる！Preciousの「頬に自信を取り戻す！」も！コロナ禍は誰にでも平等にやってきたから、アフターコロナ対策もみんなが「分かる～」というのがポイントですよ。目元のシワとか老化の王道じゃないのがまた。



H瀬●「旅」が去年にはないキーワード。



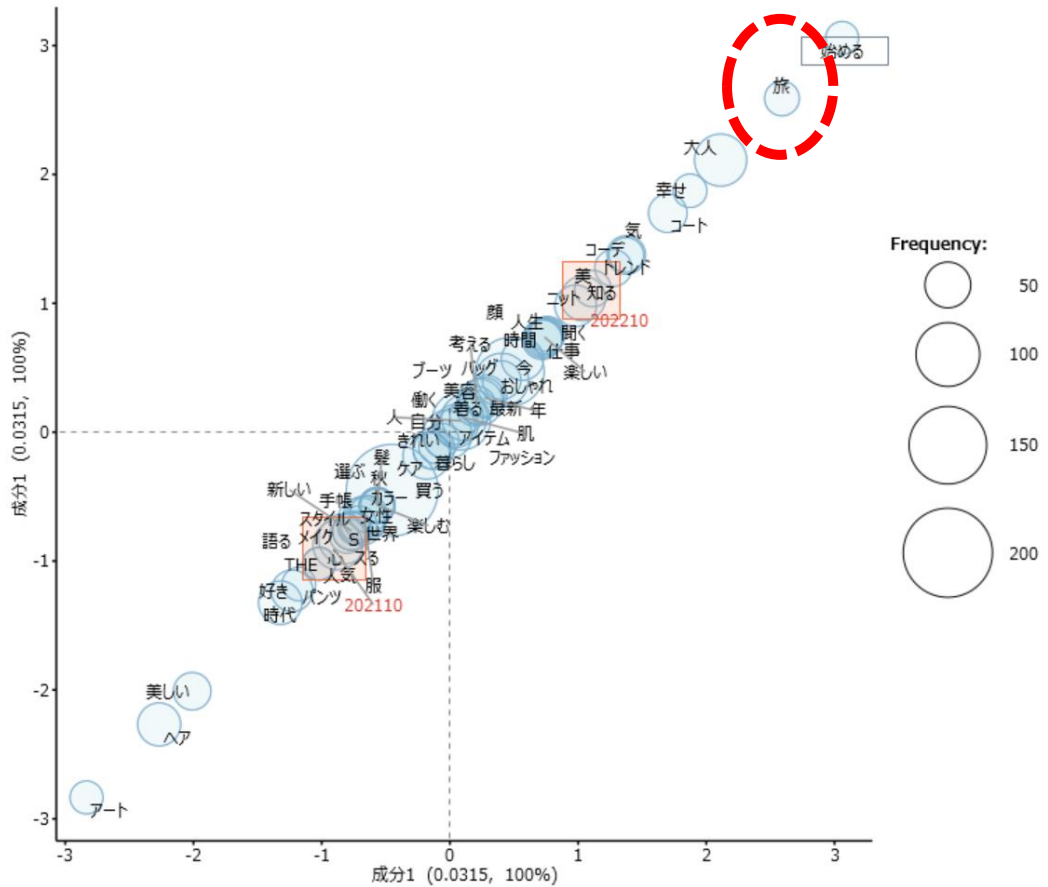
P田●唐突に余談なのですが、リモワが表参道の駅に大きな広告を出していたりして、「旅がもどってくるぞー！」と主張している（ように感じる）のですが、気付いたらめっちゃめっちゃ高級品になっていて、もう買えそうもありません。小さめのスーツケースがひとつほしいと思っているのですが…。と思っていたところに気になったのがこれ
<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/casestudy/00012/00923/>
絶妙な値段設定と、ちょっと不思議シンプルなデザインで気になっています。



N松●わ、これは可愛い！マットな質感・地味でも派手でもないくすみ色・丸すぎない丸みがイマドキジェンダーレスな感じ。こういう色みや質感、ファッション性が欲しい普段使いのバッグにはピンと来ないけど、インダストリアルなスーツケースだとめっちゃくちゃしっかり来ますね！

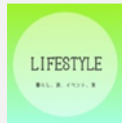
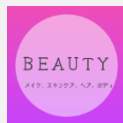
2022年10月②アフターコロナ

そろそろ本気で、いよいよ本気で



2022年10月

キーワード③韓国トレンドからの影響



- ◆おとなのための韓国コスメ入門(kiitos. Vol.21)
- ◆韓国コスメ・韓国っぽメイクBOOK(ViVi11月号)
- ◆大人も盛れる、韓国アイメイク ネタ帖(MORE11月号)
- ◆Kコスメでつくる 一点突破メイク ちいぽぽはこの秋、ナチュおしゃ顔♡(Scawaii! 11月号)
- ◆Kコスメスペシャル座談会！(Scawaii! 11月号)
- ◆韓国文学とフェミニズム(BAILA11月号)
- ◆韓国 MAKE-UP IN LOVE(LARME秋号)
- ◆ヒップに進化続ける街 いよいよ、ソウルへ！(ELLE japon11月号)
- ◆大ヒット韓国ドラマのあのメニューが食べたい！(オトナMUSE11月号)
- ◆第4次韓流ブームを牽引するNEWスター。 ロウンさんに聞く世界とボクをつなぐ言葉。(anan10/5号)
- ◆KAZUHA しなやかな飛翔(SPUR11月号)

2022年10月③韓国トレンドからの影響

日本→韓国→日本の価値創造



H瀬 ● 先ほどの

◆もう、ポーズに困らない……！みんなの集合写真みせて！（mini11月号）
ですが、プリクラ時代に流行った**ギャルピース**が復活しているようです。

◆若者に流行中「ギャルピース」とは 「90年代にも流行」「韓国でも日本人アイドルからトレンドに」

<https://jocr.jp/raditopi/2022/04/21/424190/>

発端がK-POPアイドルからの逆輸入だそうですよ。IVEの日本人メンバー・レイの別名「レイポーズ」とも呼ばれていて、そこからaespaのジゼルに伝わって日本に再上陸だそうです。

IVEのレイはVOGUEの表紙にも登場しています。先月ご紹介したSPURのKAZUHA(LE SSERAFIM)と並べてみます。韓国で活躍する第4世代韓国アイドルの日本人女子のモードなハイブランド感は新しい世代像。



2022年10月③韓国トレンドからの影響

日本→韓国→日本の価値創造



H瀬●KAZUHAはバレエ歴15年のLE SSERAFIM（ルセラフィム）のメンバー。ルセラフィムには元IZ*ONEのチェウォンと宮脇咲良がいます。

第4世代韓国アイドルのルセラフィムの曲はこんな歌詞。（リンク参照）。

◆「馬鹿にしないで 私が歩んできたキャリア」LE SSERAFIMの新曲の歌詞に込められた思い

<https://gendai.media/articles/-/101156>

第3世代の(G)I-DLEの「Nxde（ヌード、누드）」という曲も、メッセージ性が高い。

◆わいせつな検索結果を一掃…韓国アイドルの歌が起こした変化

<https://www.cosmopolitan.com/jp/k-culture/korean-entertainment/a41741485/gi-dle-new-song-nxde/>

BLACKPINK以来の意思の強さを持った女性像が、最近の新曲に顕著で、贅沢なクリエイティブたっぷりのストーリーで語られています。

YouTubeでMVと日本語訳つきの2つを是非チェックしてみてください。

ファッションやメイクや意識など、Z世代やα世代がどういった影響を受けるのか？プランナーとして絶対に知っておいた方が良いと思いますよ！

ルセラフィムの'ANTIFRAGILE'

<https://youtu.be/oA8QPRqdVYA>

（日本語訳つき）

<https://youtu.be/J9bnkKa7Gkw>



LE SSERAFIM (르세라핌)
'ANTIFRAGILE' OFFICIAL M/V
4363万 回視聴

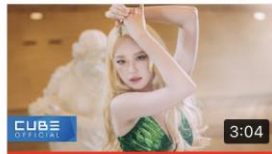
HYBE HYBE LABELS

(G)I-DLEの Nxde

<https://youtu.be/fCO7f0SmrDc>

（日本語訳つき）

https://youtu.be/fEaaIEKh_Ew



(여자)아이들((G)I-DLE) - 'Nxde'
Official Music Video
6637万 回視聴

(G)I-DLE (여자)아이들 (Official You...

2022年10月③韓国トレンドからの影響

日本→韓国→日本の価値創造

【コラム Z世代特派員によるルセラフィムの感想をそのまま貼ります】
どうやって彼女たちがKPOPにハマっていくのか？のインサイトがわかります

ルセラのMV♥♥🎵🎵

カズハが美しくも力強すぎてその唯一無二な魅力にやられる ♀やはりhybeなのでmvにめちゃくちゃ金がかかっている Ⓜ️ アンニユイでY2 Kな雰囲気まさにドンピシャ Ⓜ️ サビ部分も誰もがtiktokで流行るだろうと予想するぐらいの中毒性 😊 歌詞にもメンバー一人一人の思いが込められているように見える

●カズハパート

「忘れないで私が置いてきた toe shoesこの一言に尽きる」

●サクラパート

「馬鹿にしないで 私が歩んできたキャリア」

ここでグワシッと古参の心を驚掴み虜にし、離れなくさせる。

●さらに極めつけは

「do you want to be forgiven?」「あなた許されたいの？」と次カムバのネタバレをしている。

色々な騒動でデビュー初期にも関わらず沢山の騒動を経験した5人の少女達のうちに秘めた経歴、物語を上手く利用している。正直デビューした時の曲は微妙だと思ってたしその後同レーベルから別のヨジャグル(newjeans)に様々な成績を追い抜かれていてうーん 😊 って感じてたけど流石の私も惚れてしまった。hybeのプロデュース力がすごすぎる。今、第4世代で様々なヨジャグルが輝いている中、他にはなくてルセラだけにあるものとはなんなのか？

おそらくそれは「彼女達の経験」だろうとhybeは思った。

メンバーの

●ユンジン→プロデュース48で制作側に性格悪い女の子といみえるような編集をされ初期で脱退

●サクラ→語るまでもない

●チェウォン→アイズワンメンバーだった

●カズハ→プロバレリーナになりうる人だった

ルセラ全員メンバー→デビュー初期にも関わらずいじめ騒動で1人脱退

などなどそれぞれの経歴に物語がある。それに上手くFocusを当ててhybeは年月、彼女達のドキュメンタリーをYouTubeに投稿している。そこでオタク達は少女達に一気に感情移入し彼女達の苦勞、経験に涙。からのこの曲「ANTIFRAGILE」冒頭は「do you think i'm fragile? 私って壊れやすいと思う？」から始まる。まさに激アツ♥💧 古参はより離れられなくなり、曲調の中毒性でtiktok受けを狙う。tiktokで流行れば新規も劇的に増える。もう沼から抜け出せないただ曲を聴く、作品を見る、動画見るのではなく「彼女達の物語を紡いでいく」ような感覚になる。これは他のヨジャグルにはない。まさにこの少女たちにしかできないこと。

2022年10月

キーワード④フェミニズムアイコン



- ◆社会を“変える”モデルとして、プライムタイムを生きる7人の肖像(VOGUE JAPAN11月号)
- ◆ダコタ・ジョンソンが語る 家族、葛藤、そしてセクシュアルウェルネス(VOGUE JAPAN11月号)
- ◆ウクライナのファーストレディ、オレナ・ゼレンスカの肖像(VOGUE JAPAN11月号)
- ◆ゲームチェンジャーなディーバたち(ELLE japon11月号)
- ◆渡辺直美 ポジティブ思考のその先(MAQUIA11月号)
- ◆ナタリー・ポートマンからのメッセージ、女性にエネルギーを与えるディオールの新ルージュ。(FIGARO japon11月号)

2022年10月④フェミニズムアイコン

思想を含めてファッション



H瀬●先ほどの韓国アイドルの「歌詞の意味がハッキリしてきた」に通じる話題です。



P田●これはもう雑誌として定着した内容だなと思っています。特にモード誌は、政治、フェミニズム、アート、SDGsなどのキーワードで語られる人に服を着せて、考え方や人生を語ってもらうというもの。

ファッションだけでファッションを語る事がもうできなくて、思想みたいなものも含めてファッションになっているのかなという風に感じます（フェミニズムがファッションであるというのとはちょっと違うのですが）。

リアルなファッションはSNSが情報のかなりの割合を占めている感じがするので…。

一方で、フォーブスに吉本所属の芸人さんが出ていたのが気になったのでシェア。

TikTokで見ている面白いなと思っていた人で、でもこの人のセルフプロデュース戦略がすごいという話。

外資系CAからエンターテイナーへ 35歳の新人「CRAZY COCO」がバズる理由 | Forbes JAPAN (フォーブス ジャパン)

<https://forbesjapan.com/articles/detail/51167>



N松●フェミニズムと言えば、先月も少し触れましたが、イランで起きたヒジャブ事件。鎮火するどころかさらに抗議活動は広がって、女子学生たちがヒジャブを脱いだり、女性が自分の髪を切り落として見せる行動が各地で起きています。フランスの有名女優たちが自らハサミで髪を切り、イラン女性への連帯を表した動画も話題に。女優といえば髪にこだわりがあるであろう職種、その人たちがやる事が意義深いです。

50人以上のフランス人女性、イラン人女性への支援を示し「髪を切る」動画を公開 (2022/10/8 マダムフィガロ)

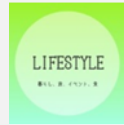
<https://madamefigaro.jp/society-business/221008-charlotte-gainsbourg.html>

そしてここに登場しない人はどうしているんだろう？とってしまうこともあると思うんですね。欧米ではもう「何もしないことは正義ではない」というムード。フェミニズムアイコンを取り上げたこれらの見出しもほとんど外資の雑誌ですね。

「出る杭は打たれる」文化で日本の有名人が政治的行動をするのがタブーとされるなら、日本は欧米よりもイラン寄りなんじゃないかと思っちゃいます…。

2022年10月

キーワード⑤昭和っぽい



- ◆RETRO RETRO GIRL 永野芽郁と昭和レトロと(Ray11月号)
- ◆センスいいねって言われたいから... 昭和レトロで、懐かわはじめました。(Ray11月号)
- ◆ジャケットをオマージュ これは、昭和アイドルになりたい女のコのおハナシ。(Ray11月号)
- ◆昭和レトロにタイムスリップ さえさんぽ。in TOKYO(Ray11月号)
- ◆甘〜く仕上げれば今どき 昭和と令和のイとこどり♥(Ray11月号)
- ◆メイクでかなえる昭和美人たち 昭和みレトロメイク(Ray11月号)
- ◆懐かしくてかわいいムードに包まれて レトロワンピで、デート服こそかわいくあれ♥(Ray11月号)
- ◆乃木坂46 金川紗耶・田村真佑・清宮レイ共演！秋はプリかわなニットがほしいの♥(Ray11月号)
- ◆ひいちゃんとアオハルしよ スクールガールが流行ってます！(mini11月号)

2022年10月⑤昭和っぽい

Y2K、平成レトロ流行りに昭和も追加



N松●時系列にのっとり、80年代風→90年代風が流行って、最近はもちろんY2Kとか平成レトロが流行っていますが、**昭和にまたさかのぼっちゃった**（笑）。

Rayの見出しなどを見ていると、もはや我々大人が60sや70sを可愛いと言ってるのと同じ感覚なのかも知れない。でも、カラフルでおしゃれなツイギーとかフラワーチルドレンと違って、日本の昭和って「映える」か??とってしまう昭和リアタイ世代です（笑）。

確かに、昭和アイドル歌謡がサブスクで流行っているとか聞くと、聖子ちゃん・明菜・キョンキョンなんかの昔の映像がチラホラ流れてきて、ピンで歌えるアイドル、やっぱり可愛いなあと思ったりしますけどね。

テレビの音楽番組、若者はテレビ観ないし、昨今の歌手はYouTubeから出てきたり、顔出ししない人もいたりするせいか、テレビ局のアーカイブで賄える昔の映像ばかり流しています。それで昭和や平成の音楽シーンが実際以上に良きものに見えてしまうというのもある気がする（笑）。**リバイバルするというよりリサイクルされてる**という感じ…

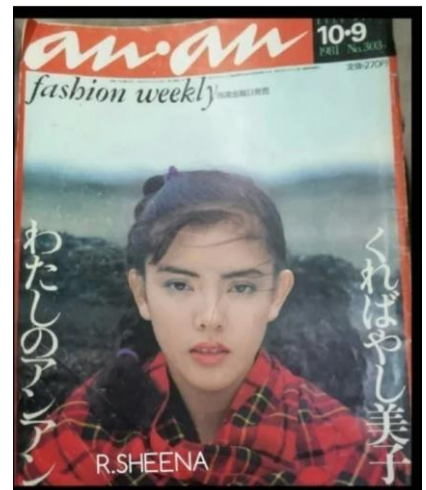
先ほどのIVEのレイが表紙のVOGUEのデザイン、この大きなフォントやその入れ方も、昭和っぽい！というか、ウォン・カーウアイの香港映画っぽい。**明朝系とゴシック系が混ざってバグってる感じ・中国っぽい感じも、若者には面白いのかも。**



P田●昔の雑誌っぽいですよ。

漢字のタイトルがつつり持つところとか、**外国の人から見たエキゾチック漢字文化**みたいな風味も感じます。この感じ。1981年のananです。

ウォン・カーウアイはこの間映画を見て以来私の中でじわじわと熱くて（N松●私も「花様年華」4Kリマスター観てきました・笑）、それこそ、**時代は平成ですが、もうたぶん永遠に失われてしまった香港へのノスタルジー**が渦巻きます。単に猥雑な街が綺麗になっちゃった、みたいなものではなくて、政治的な要因も含めてあの魅力的な街が失われてしまった…というのとはかつてを知っている我らには切なく、でも、**若者にはただただ見たことのない、でもなんだかすごく自由で未来への希望とかエネルギーに満ちた魅力的な都市に映る**んだろうなあと。



と、思っていたら、**昭和も今の若者からしたらそれなんだろうな**…と。ちなみに、昭和はとにかく長いからいつを指してるのかとか、それ平成だよなっていうのを昭和と表現していたりして、**もう「昭和という概念」が若者とわれらでは違っていたりする**と思います。三丁目の夕日とか西武園ゆうえんちではもちろんないし、その後の60, 70年代レトロでもなくて、もはやバブルに近いイメージだったり。どこに注目しているかによって変わりそう。

2022年10月⑤昭和っぽい

Y2K、平成レトロ流行りに昭和も追加



N松●昭和な風景に欠かせない要素として、電信柱や電線がありますが、東京オリンピックに向けて「美観のため」として地中化しようとしたけどあまりの多くてやり切れなかった、ということがありました。建物の耐震性のように、安全のための工事ならしなければならいけど、個人的には電線があってもいいじゃない派。海外に対して美観が、ということで言うなら、色の洪水の看板に電線ってまさに日本の風景ですもん。



P田●大分逸れましたが、「Ray」の昭和レトロは、いろんな意味で昭和コスプレを楽しむというので、もはや私も読みたいと思ってしまう内容です。ビルの話にも通じますが、スタバにもホテルアフタヌーンティーにもない、ギュッとした世界観、映えるビジュアルが昭和レトロ喫茶にはあるんですね…。ちなみに、大阪の喫茶アメリカン、人気だとは思っていましたが、この夏行ったらもう大変な混みようで、写真撮影も制限されていて、一体どこでバズってしまったのか…と驚きました。

【コラム P田が昭和について熱く語る】

●コカ・コーラCM

<https://www.youtube.com/watch?v=C8qD8svHG7c>

これ、よく回ってくるコカ・コーラのCMです。ジャスト90年前後のものかなと思います。バブルへのあこがれ、右肩上がり経済へのあこがれと、（それはバブルをうっすらでも知っている世代かも）なんだか知らないけれど、すごく大人でかっこいい日本があったの？みたいな感じで新鮮に映ったりもするでしょうし。

結構「この時代に生まれたかった…」みたいな大げさなことを書いてSNSにアップしているのを見たりしますよね。

とりとめもなくりますが、2019年くらいからのようですが、シティポップが再々ブームみたいな話もありますよね。松原みきの「真夜中のドア」竹内まりやの「プラスチックラブ」あたりが配信やYOUTUBEで話題とかの流れ。それは海外から逆輸入視点で注目されていたりもするのかなと思います。

●昭和名建築

あと、これまたとりとめもないのですが、古き良き時代に建てられた、まさに昭和の名建築が次々と壊されていく今、「昭和は文化なのか」というところ、問われているなと感じます。戦前からある建物は保護され、大切に残されていますが、中銀カプセルタワーが今年すでに解体が始まり、東京海上日動ビル本館がまさにこの10月と言われている、来年には有楽町ビルも閉館です。個人的に昭和のビルの味わいが好きで、つるつとした味わいのないビルに建て替わるんだろうなというのが本当に残念。便利だけど、安っぽくてつるつとしていて、どこでも何でも一緒、それに比べると昭和は、タイルひとつとっても、無駄のように見えて美しい…とかがって私が語ると「昭和はよかったお婆さん」みたいになりますが、若者が語るとかっこよかったですよね。

2022年10月

キーワード⑥サ活と雪



サ活

- ◆悲しい日、うれしい日、365日どんな日でも… 今日もサウナでととのいます！(GINGER11月号)
- ◆正しいサウナの入り方、知っている？(Harper's BAZAAR11月号)
- ◆究極のリラックスが叶う、サウナ最前線(Richesse No.41)
- ◆邪道でゴメンね♡ sweet的サウナのススメ♡(Sweet10月号)
- ◆あの人のご自愛FILE 長濱ねる ♡ サイクリング/内田理央 ♡ サウナ/柰代和人 ♡ ファッション/藤原さくら ♡ 自作イラスト/ゆっきゅん ♡ 脱最先端カルチャー/荒川(エルフ) ♡ 盛りネイル/見津 賢 ♡ 純喫茶(anan10/12号)

雪も

- ◆雪山に映えるブラック(Numero TOKYO 161)
- ◆冬のリッチな社交の場。SKIファッションを極めたい！(VERY11月号)

2022年10月⑥サ活と雪

美容や健康の切り口も多いが、女子会やナイトプールに通じる感覚もある



N松●男性の間でブームになった「サ活」が女子にも波及してきました。心身が「ととのう」とか言いますが、女子サ活はナイトプールやテーマパーク的な部分も。女子会やデートの一メニューとして友達や彼氏と楽しい時間を共有して、ついでに肌がつるつるになったらラッキー♪というサ活もありますね。Sweetが「邪道でゴメンね♡」と言っているやつです（笑）。邪道どころか一つの文化を作っているなあと思いますが。サウナというハードを体験するだけじゃなくて、サウナハットとか専用マットとか、新しいアイテムを買ったりする楽しみもあるのがいい。



H瀬●昔、ランニングとっていた層がサウナに流れているという指摘があって、なるほどと思いました。



P田●たしかに男性の方が「ととのう」を主軸にサ活している印象ですね。女性はもっとスパ感覚、女子会ノリがあるなと思います（韓国に行ってサウナ入るのはまた違うイイ感じのチャラさなのかな）。



N松●夏のクルーズコレクションは当たり前になりましたが、少し前から冬のカプセルコレクションもジワジワ来てます。シャネル、フェンディ、アルマーニといったブランドがスキーウェアなどを発表していますが、ヨーロッパの富裕層の冬リゾートもコロナでお休みに。今冬のシャネルのコレクションなど結構目に入るので、ようやくまたこういったコレクションが戻ってきて、改めて、冬・雪山が特別なおしゃれをする場としてとらえられるようになるのかなと思います。

2022年10月

キーワード⑦秋服トレンド



今からダウン

- ◆紺ブレ、ツイード、ジレ“キャラ立ちはおり”でお仕事服も自分らしく(MORE11月号)
- ◆秋はONもOFFも使える万能ローファーがあれば！(MORE11月号)
- ◆お仕事⇔休日どっちも映える「華ブラウス」5(MORE11月号)
- ◆メリットありすぎ「ナロースカート」が味方(MORE11月号)
- ◆“人と差がつく”コートとダウンを指名買い！(BAILA11月号)
- ◆「ダウン」はフライングで！(オトナMUSE11月号)
- ◆コンサバママの一張羅ダウンはプラダ、モンクレール、ヘルノ！(VERY11月号)
- ◆結論、オシャレに進化したダウンを一着(VERY11月号)
- ◆ダウンは「コンビ」と「ストレッチ」があればいい！(VERY11月号)
- ◆きれいめ前提で着られる“いいとこ取り”ダウン(VERY11月号)
- ◆冬の休日に似合う穏やかな色が、気持ちまでもニュートラルに整えてくれる「淡色ダウンアウター」で楽しむ ラグジュアリー・カジュアル(Precious11月号)
- ◆「朝晩10℃以上の温度差」を乗り切る1カ月着回し(美人百花10月号)

メンズっぽい

- ◆冬の“ちょいおじ”ベーシックはじめます。(mina11月号)
- ◆スタイリストのおすすめアイテム メンズ服のベーシック(GINZA10月号)
- ◆このメンズブランドが着たい(SPUR11月号)
- ◆スーツで奏でるボリュームプレイ(Harper's BAZAAR11月号)
- ◆おじっぽマニッシュVS.レディクラシカル(ViVi11月号)
- ◆“シェアファッション”で広がる、新しいおしゃれの楽しみ方。 ミチ&よしあき/香菜子&Hawaka/ソヨン&ユウ/AMIAYA(anan9/21号)

2022年10月⑦秋服トレンド

ダウン、メンズっぽい、ベーシック



N松●ここ2、3年はあまり出かけなかったから、特にダウンやコートのような重衣料はみんな買わなかったんですね。出かけるようになったから必要というのに加え、3年も経てばさすがにアップデートされたデザインじゃないと、ということもあり、今冬はいよいよ新調の動きかな。MOREの「仕事服」も全体的に綺麗めアイテム多めで、「ちゃんとおしゃれする」気分が伝わってきます。



P田●おじファッション、以前流行したときよりもネタ感が薄まったのかな？と感じました。ファッションのジェンダーレス化が進んだことで、「メンズアイテム？着るよね、そりゃ」という感じになっているかなと。



N松●メンズ、おじファッションを志向する動きから、逆説的に「可愛い」の後退を感じました。メンズっぽい服もちよいおじも、普通にそれが「可愛い」ととらえられているし、既存の、女の子っぽい・甘い「可愛い」は、「可愛い系」のように一つのジャンルになっていて、そういうのが好きな人がするファッション、みたいな感じですね。

2022年10月

キーワード⑧新しいベーシック像



- ◆今、買い替えたいのは、「いいベーシック」(BAILA11月号)
- ◆靴もバッグもヘッドアクセも！ 憧れブランドの自分アゲ小物(Sweet10月号)
- ◆スタイリストのおすすめアイテム メンズ服のベーシック(GINZA10月号)
- ◆冬の“ちょいおじ”ベーシックはじめます。(mina)
- ◆「新しいトラッド」で、ちょっときれいめカジュアル始めます！(LEE11月号)11月号)
- ◆SET PLAY 高まるシンプルなこれから「ミーハーベーシック」(GISELe11月号)
- ◆スタイリスト乾さん監修！「ありそうでなかった」がつまっているオシャレの仕上げはスリースクエアの上品ベーシック(CLASSY.11月号)
- ◆どんなシーンにも履ける足元のベーシックだから…投資するなら「憧れブランドのローファー」がいい(CLASSY.11月号)
- ◆M7daysで実現！ Marisol世代のプロに聞く、「本当に使える服」番外編 美女組 tomomiyuさん×M7days 大人のきれいめカジュアルを作る、「理想のベーシック服」3(Marisol秋冬号)
- ◆今の気分を上手にキャッチ ベーシックスタイルに映える「匂コート」(Marisol秋冬号)
- ◆秋の新作でフレンチベーシック着回し10days(LEE11月号)
- ◆高橋リタさんの視点「最愛」こそ更新するもの。クリーンなトラッドエレガンスに、今年はハンサムなディテールをプラスして、自分らしさを高めて無理がないのにないつも素敵！ 永遠の「ベーシックコート」スタイル(Precious11月号)
- ◆秋の新作でフレンチベーシック着回し10days(LEE11月号)

2022年10月⑧新しいベーシック像

新しいトラッド、いいベーシック、理想のベーシック、フレンチベーシック



P田●秋冬になるとなんとなく恋しくなるトラッドテイストですが、ベーシックという言葉と相まって目につきますね。靴から考えて、便利かつ各ブランドも出しているローファーをベースに考えると、トラッド寄りのファッションは相性がよさそう。あと、よく見かけて、個人的にも気になっているのは、一見超トラッドなアイテムなのに、タータンチェックが何種類か使われていて遊び心があるとか、布は制服みたいなタータンチェックなのに形が面白いとか。久しぶりにガッツリ買い物したい、となったときに、しばらく着られそうな安心感と、遊び心のバランスは心つかまれるものがありそうです。

◆“パリっぽOL”道重さゆみ、“レディカジュOL”鈴木愛理「過酷な残暑」(美人百花10月号)

◆秋の新作でフレンチベーシック着回し10days(LEE11月号)

P田●かつてはパリジェンヌ、ミラネーゼは女性の憧れの存在でした。そこから冷静に考えると、パリはすっかり遠くなりけりです。解禁になったとはいえ高い、現地での物価が高い…。あとは今は、憧れる・真似したいのは韓国の子たちになってしまっていると思うので、今敢えてパリっぽOLが出てきたのってどういう文脈なんだろう？と。



N松●LEEが「フレンチベーシック」と言っているのがまさにで、フレンチはもはやベーシックと化していて、別に特別おしゃれなジャンルじゃないのかも。



H瀬●フレンチカジュアルとか、フレンチベーシックというのも定番化してきました。女子大生が「●●ちゃん、今日はフレンチカジュアルだね！」って日常会話で言っているのを聞いて、そういうジャンルを意識してるんだ！！と目から鱗でした。



N松●アイテムもそもそもベーシックですよ、ボーダーのバスケットシャツとかデニムとか。だから、もうおしゃれファッションの象徴ではなく、安心感のあるファッション=フレンチ、な気がします。

ヨーロッパのカジュアルファッションを毎月追いかけているFUDGEが、パリ・ロンドンにプラスして最近取り上げているのは、ドイツのベルリンやスウェーデンのストックホルムなんですよ。悪い言い方になっちゃいますが、パリやロンドンは大抵手垢がついちゃって新鮮味が欠けるけど、ベルリンやストックホルムのファッションって全然わからないから、すべてが新たなコンテンツになり得ますよね。

2022年10月

キーワード⑨シーン別服



- ◆「会う人合わせ」のおしゃれがいちばん楽しい！(BAILA11月号)
- ◆女友達と久しぶりの女子会(BAILA11月号)
- ◆プロジェクトメンバーとミーティング(BAILA11月号)
- ◆同期と月イチの近況報告ごはん会(BAILA11月号)
- ◆大事なクライアントとアポイント(BAILA11月号)
- ◆後輩と打ち合わせ後、息抜きのお茶(BAILA11月号)
- ◆気心知れた男友達と遊ぶ(BAILA11月号)
- ◆気になる彼とディナーデート(BAILA11月号)
- ◆お見合い、アプリ、デート…モテ服も変わってくるお年頃OVER30大人の婚活服で10月の着回しDiary(CLASSY.11月号)
- ◆好きな人の前専用 シーン別コーデの作り方(non-no11月号)
- ◆働く服で“オフの日もおしゃれ”になる4つの方法(MORE11月号)
- ◆紺ブレ、ツイード、ジレ“キャラ立ちはおおり”でお仕事服も自分らしく(MORE11月号)
- ◆働くアラフォーのための「自信が持てる」お仕事服&PCバッグ(Marisol秋冬号)

2022年10月⑨シーン別服

コロナから脱して人やシーンを意識



P田●これはいよいよ待ったなし感が来てるかなと思います。ハロウィン今年はどうなるのかな？というところで、けん制的にUSJの下着ハロウィンが叩かれていたりして。まずは、そうそうハロウィンってそれだったよねーと思ってしまいつつ、一方で、下着コスプレの人を叩く人を叩く人を叩く、みたいな現象が起きていたのもちょっとこの話の流れとは外れますが興味深かった。

というのがありつつ、ここにあるタイトルのどれもが、コロナ前のCLASSY.の着回し特集みたいで、これまた戻ってきた感と、みんなこれについて今どう思っているかな？ちょっと、「プレイ」として楽しんでいる感覚もあるかな？と問いたい気持ちです。紺ブレ、ツイード、ジレとか、ちょっとある種のコスプレっぽさもあるなと思って。

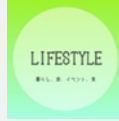


N松●好感度高めのなんとかコーデとかふんわりしたものではなく、目的やメリットを明示する見出しが目立ちます。コロナの数年前から、TPOならぬTPPOという言葉をちらほら見かけるようになっていたんですが、2つ目のPはPerson(People)を指していたんですね。誰と会うかは服選びに欠かせない要素、という意識が広がっていた。ところがコロナでそこが一切なくなってしまい…今ようやく戻ってきたわけです。つくづく、ヒトってヒトの中でヒトと生きるソーシャルな生き物なんだなあと思います。誰かと会わないなら新しい服を買わないのだから。

「誰それとなになにをする」という設定は、ド定番企画「1か月コーデ」のある1日を取り出して拡大したようなもの。具体的なワードで表現すると、リアルさがあって面白く見えますね。

2022年10月

キーワード⑩「映え」の使い方



- ◆革命的スキンケアファンデでリアル映え！(VoCE11月号)
- ◆「顔映えカラー」でHappy!な秋オシャレ(STORY11月号)
- ◆働くママの味方はBEIGE, のシンプルなのに“映える”服(VERY11月号)
- ◆「着映えジャケット」で、クールな華を足す！(eclat11月号)
- ◆きれいめ派エディター三尋木奈保さん 秋は「ひとクセ服」投入で着映える！(Marisol秋冬号)
- ◆この秋は時短で賢くおしゃれに着映える！ “タイパ”を叶える仕事服(Steady.11月号)

2022年10月⑩「映える」の使い方

「似合う」 + 「盛れる」を合わせて自分がいい感じに「映える」



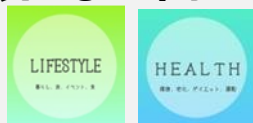
N松●わりと年齢層高め雑誌では「似合う」の意味で「映え」という言葉を使っているよう。そもそもは「くすんだ肌に明るく映える」などの文脈で、年齢層高い人たちこそ「映える」というワードに慣れ親しんでた気がするんですが、「インスタ映え」で決定的に意味が違ってしまいました。インスタ映えは、インスタの画面が素敵になるという感覚だけど、こういう雑誌の「映え」はあくまでも自分が素敵になるという意味で、そこはもともとの使われ方と変わらないのかなと。若者が言う「バエる」よりも、重めというかそう簡単には映えませんが、という感じがして、だからこそこで映えると言われている服はかなりいい仕事してくれそう。



P田●たしかに、「お顔映りがいいですよ」（BYお店の店員さん）でおなじみの「映える」という言葉ですよね。でもいま、一般的に映えるといったら、「写真で撮影し、それをインスタという決まったフォーマットで世に出す時に目を惹く」ものが映えるというワンクッションが挟まっているものを主に指します。だからこそVoCEが「リアル映え」と言っているのに意味がある、というわけですね。
で、ここで雑誌が指し、更には普通に我々としてもうれしいのが「似合う」 + 「盛れる」を合わせて自分がいい感じに「映える」もの、ということなのかなと思いました。

2022年10月

キーワード⑪人に会わない間はご自愛・快感・幸せ



ご自愛・快感・幸せ

- ◆いま必要なのは、自分への“愛”です！ ご自愛のススメ(anan10/12号)
- ◆ジェーン・スーさん、堀井美香さんと考える、今の時代のご自愛。(anan10/12号)
- ◆未来さんが教えてくれた自分をねぎらうためのヒント。(anan10/12号)
- ◆あの人のご自愛FILE 長濱ねる ♥ サイクリング/内田理央 ♥ サウナ/空代和人 ♥ ファッション/藤原さくら ♥ 自作イラスト/ゆっきゅん ♥ 脱最先端カルチャー/荒川(エルフ) ♥ 盛りネイル/見津賢 ♥ 純喫茶(anan10/12号)
- ◆宇賀なつみ×平野紗季子がセレクト。いまだきご褒美グルメ。(anan10/12号)
- ◆自分を最大限に甘やかす、クリームべっちょり簡単甘々レシピ。(anan10/12号)
- ◆Keikoさんが指南！ 月星座が示す、あなたに合ったご自愛術。(anan10/12号)
- ◆映画『もっと超越した所へ。』公開記念！ 女×女、女×男、本音のご自愛トーク。前田敦子×根本宗子/前田敦子×菊池風磨 (Sexy Zone) (anan10/12号)
- ◆「ようこそ、ご自愛BARへ…」 Starring七海ひろき×瀬戸かずや×如月 蓮(anan10/12号)
- ◆自分への思いやり度を高める。“セルフ・コンパッション”をはじめよう！(anan10/12号)
- ◆愛しいモノに囲まれて♡ MY COZY ROOM 私らしく暮らそう。(Sweet10月号)
- ◆19 Essentials for Grown-ups 明日の私のために、選びたいもの。(&Premium11月号)
- ◆幸せは自分で見つける(天然生活11月号)
- ◆日常の小さな幸せの見つけ方(天然生活11月号)
- ◆私を幸せにした、あの言葉(天然生活11月号)
- ◆ゆるやかに続ける、私の健康法(天然生活11月号)
- ◆人生がととのう！ 快感レッスン it's turnig me on(GINGER11月号)
- ◆快感を導く、10のヒント(GINGER11月号)
- ◆あの人快感リスト(GINGER11月号)
- ◆撮影現場で美味しい顔をパパラッチ！ 「口福」を運ぶ快・感・飯(GINGER11月号)
- ◆悲しい日、うれしい日、365日どんな日でも… 今日サウナでととのいます！(GINGER11月号)
- ◆私を笑顔にさせるもの(ELLE japon11月号)
- ◆思わず笑顔！ になるカルチャー案内(ELLE japon11月号)
- ◆明日の笑顔が変わる！ 私の「ソロ活」白書Special 推し活編(Mart秋号)
- ◆私と暮らしをアップデートするプチプラアイテム150(ESSE11月号)
- ◆自己肯定感が下がったときに頼れる私の処方箋 私を鼓舞するモノとコト(SPRING11月号)
- ◆秋の夜長のセルフケア 私を癒して満たすもの(kiitos. Vol.21)

人間関係

- ◆令和の心地よい「友達」概念アップデート！(LEE11月号)
- ◆恋愛のブラックボックスについて語り合おう(Numero TOKYO 161)

エモーショナルレイバー

- ◆仕事やプライベートで誰もが経験している「エモーショナルレイバー」とは？(ELLE japon11月号)

2022年10月⑪人に会わない間はご自愛・快感・幸せ

ちょっと疲れたり弱かったりな自分を労り愛してあげたい気分



◆令和の心地よい「友達」概念アップデート！(LEE11月号)

◆恋愛のブラックボックスについて語り合おう(Numero TOKYO 161)

P田●これ、今どきの若者にとっての人間関係論なのかな？と思ったら、意外と大人の雑誌が取り上げていました。人との関係の「つくりかた」「保ち方」みたいな部分がかなり変わっているなどと思い、あとは、友達も、同級生、職場の人、ママ友みたいなくくりではなくて、推し活だったり趣味だったり違う軸が出てきている昨今だと思います。この記事の内容を読んだわけではありませんが、気付けばたしかにアップデートされているものだろうなど。

◆仕事やプライベートで誰もが経験している「エモーショナルレイバー」とは？(ELLE japon11月号)

記事を読んでみました。肉体労働、頭脳労働に次ぐ、第3の労働＝感情労働のことだそうです。日常や、仕事上で起こる「もやもや」。周りからはわかりづらく（見せないようにしているのも感情労働）、過小評価されがち。例えば、「CAさんがお客さんの顔をうかがう」「お局に嫌われないように気を遣う」などがそれに含まれていました。今一つ、ピンとくるような、こないような…。昭和の考え方で言うと、それも含めて仕事では…となりますが、今は、リモートだったり、ずっとPC相手に済む仕事があったり、人に対して感情を動かして、何かを察して、気を使ったアウトプットをするというのは、感情労働と改めて名付けるほどのものになっているのかな…と感じます。ただ、プライベートでも感情労働を強いられている場合があります（夫に気を遣う、ママ友に気を遣う）それも含めたら人間が気を使うことはすべてエモーショナルレイバーなのですが、これはもう、自分のなかで、あ、感情労働して疲れているなと認識し自分をいたわってあげるための概念、名付けてラベリングすることでそこから対処法が生まれるという意味合いの使い方かなと思いました。



N松●わあ、エモーショナルレイバーって、日本企業・日本社会あるあるじゃないですか…。上司より先に帰っちゃダメとか、制度として認められてるのに育休を取りにくいとか。空気読めという不文律がいっぱいありますもんね。確かにそれによる無駄やストレスは減らしたほうが効率いいけど、良く言えば気遣いや周りとの足並みを揃えることで効果を生み出す部分もあるのも確か。

P田さんがおっしゃる通り、自分が削られるような部分があるならそこを自覚して対処するっていうのはものすごく大事ですよ。社会がこういうカタチである以上、そうすぐには変わらないし、自分を持続可能にする術は持っておきたい。



P田●自己肯定感について思うんですけど、今の日本に生きているだけで自己肯定感って下がると思うんですよ…。ものすごく円安だし。円と同じで自分も安いなあ…って。最初から良い時代を知らない若者は感じない感覚なのかもしれませんが…。

というのは極端な話ですが、ご自愛や自己肯定感UPのための特集が今月もまた多い！このところ、ずっとホットトピックです。しかも、媒体や方向性を問わずそのネタがある。

2022年10月⑪人に会わない間はご自愛・快感・幸せ

ちょっと疲れたり弱かったりな自分を労り愛してあげたい気分



P田●決して何かを買う「ご褒美」みたいなものではなくて、もう少し根本の部分で整えていく、本当のご自愛、心地よさみたいなものを追求している感じがします。メンタルとフィジカルの両方からアプローチするイメージです。
フェムテックとかSDGsとか、そしてこのご自愛気分とか、ゆるっとどれもつながっているなと思っていて、フェムテックはコンディションを整えるわけだから当然として、SDGsも、何となく感じるもやもやを放置できない！みたいなイメージでしょうか、または、地球環境の負荷がまわりまわって自分に戻ってくるみたいな考え方なのか。違和感に目をつぶらないというのは、先ほどあったエモーショナルレイバーの話にもつながると思うのですが、最近の考え方だなと思います。たぶんそのファーストステップは、もやもやの存在を認知するところ、なのだと思いますが…。



N松●anan10/12号がまるごと「ご自愛」をテーマとしていますが、自分自身が心地よく、ちょっと幸せを感じたい、という見出しが数多く見られました。遠方への旅行や特別な食事、大きな買い物などではなく、あくまでも日常生活の中での幸せを実感したいという気分、すごくあるなあ。

3年以上そこにある、そしてこれからもある程度そこにあり続けるコロナストレス、それに加えて今年は海外での戦争やその影響による物価高やエネルギー不足といったネガティブなニュース…自分の目の前で起きていることではなくとも、世の中がどんよりしているの、誰しものが大なり小なり気分が落ち込みがちだと思います。

その原因が無くならない以上、自分のできる範囲で自分の気分を上げるしかない…というところでこういったウォンツが出てきているんでしょうね。先ほど出た「エモーショナルレイバー」とも重なります。

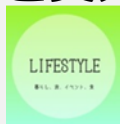
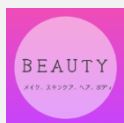
頑張ることが美德の社会だから、ストレスや疲れを我慢しちゃう人も多いですね。自分を責めたり自己肯定感を感じられない人も。…というところで、最近よく見聞きするのが「セルフ・コンパッション」という言葉。ananにも取り上げられていました。意味をWikipediaから引くと、「セルフ・コンパッション（英: Self-compassion）とは、自らの欠点、失敗、または人生におけるさまざまな苦しみに直面した時に、自分自身への思いやりを実践することである。クリスティン・ネフの定義によれば、セルフ・コンパッションは『自分への優しさ』、『共通の人間性』、および『マインドフルネス』という3つの主要な要素で構成されている」。ちなみに心理学や仏教の考え方なども反映されているそうです。英語の言葉ですが、まさに「ご自愛」ですね。



P田●改めて考えてみて、エモーショナルレイバーは私には完全に内蔵されていて、そのメモリがとても大きめのタイプの間人ですし、編集者ってそれが仕事みたいところがやっぱりあると思っていて、でも、デジタル対応などでそうではない世代やそういう意識のない人と仕事をするとも増えて、そこに断絶と苦しさがあるなあと思えました。

2022年10月

キーワード⑫イケメンと美人 顔面至上主義



イケメン

- ◆顔面偏差値最強ジャニーズJr.が初登場！一緒に住んで、一緒に食べて、一緒に笑って……美少年がシェアハウスしてみたなら(Steady.11月号)
- ◆日常でこんなイケメンに出会える世界線だったなら…高橋恭平くんがバスケットコートでよく会う彼だったら(CLASSY.11月号)
- ◆話題のドラマ『君の花になる』の最強イケメン集団が登場 FOCUS ON 8LOOM！(CanCam11月号)
- ◆美顔の王子様、ここに降臨！29歳、山田涼介(Hey! Say! JUMP)の二面性(SPRiNG11月号)
- ◆ついにソロで月刊 国宝級イケメンに降臨！松田迅 (INI) (ViVi11月号)

美人

- ◆簡単アイメイクで旬の眼差しに あなたはもっと美人になれる(家庭画報11月号)
- ◆「私」を美人に寄せていく！(美的11月号)
- ◆“あなたに似合う”が必ずある！最旬“美人顔メイク”オンパレード☆(美的11月号)
- ◆教えます！／「秋メイクトレンド×美人寄せ」の法則(美的11月号)
- ◆主役の最旬カラー別に 目・唇・頬メイクの『美人寄せBESTバランス』ガイド(美的11月号)
- ◆＼＼実証します！／／読者の美人寄せBefore→After実況中継(美的11月号)
- ◆COVER INTERVIEW／推せる美女、浜辺美波に憧れて(ar10月号)

2022年10月⑫イケメンと美人 顔面至上主義

美人はもう完全に「なれる」「寄せられる」ものに



N松●見出しを見ると、美人はもう完全に「なれる」「寄せられる」ものになっているのがわかります。顔の悩みを解消…のようなネガティブな要素はまったくなく、そこそこレベルからスタートする前提。

「一重まぶた」を例にとると、長らく主流だったのは、少しでもまぶたの重さを軽くしたり軽く見せたりするトラブルシューディング。それから「一重まぶたに似合うメイク」といった、ありのままの美しさを前向きにとらえようという時代があり、今は「好きじゃないなら一重を一重のままにしておくことはない」とメイクやメザイクや整形でさくっと二重を作ってしまう。なんかもう、「一重まぶた（に代表される顔悩み）の人はいない」みたいな感じ。美人の基準とか定義が狭くなっている感があります。

一方「イケメン」はこちらがどうこうする余地は1ミリもなく、その存在・その造形をただただ鑑賞するのみで、いじらないでも美しいことが重要。

ちょっと前は「雰囲気イケメン」という人たちがいました。「雰囲気」という言葉が付くことで、本物のイケメンではないことが逆に強調されていた感じがしますが、今だと例えばメイクをしていてそれが似合っていたりする「おしゃれイケメン」の Kategorie があって、彼らは「本物じゃないよね」感がまったくないですよ。素でイケメンな人たちと並ぶカテゴリーとして確立されている。韓国や中国のアイドルにこういう人多いですね。



P田●ミスコンの是非が問われながら、イケメン顔面国宝はもてはやされ、話題になるという状況について、ルッキズム云々と語る層と、イケメンにときめく層は完全分断しているのだろうか？などといういろいろ考えてしまいます。個人的には実のところ美しいものが大好きなので、顔面国宝も興味津々ではあります。

それにしても、美人に寄せるっていい表現ですね。変身じゃなくて、なんか微調整して、美人ぽさを出していくという、強引なんだか奥ゆかしいんだかわからない表現ですが、着実にきれいになる方法がある、と思わせます。

【今月のカテゴリー別】

